

レジメン名 Venetoclax+LDAC

出典 Blood.2020;135(24):2137-2145
ベネクレクスタ適正使用ガイド2021年3月作成

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患 AML
 進行・再発
 補助療法(術前・術後)
 初発

投与減量の基準(ベネクレクスタ)

ANC	500/mm ³ 未満*	PLT	2.5万/mm ³ 未満*
※寛解達成後2回目以降の発現かつ7日以上継続する場合(3クール以降の発現)ベネクレクスタの投与期間及び用量を以下のように変更できる			
その他	第1段階: 投与期間を21日間に短縮 第2段階: 投与期間を14日間に短縮 第3段階: 用量を400mgへ減量、投与期間は14日間		

投与中止の基準(ベネクレクスタ)

ANC	500/mm ³ 未満*	PLT	2.5万/mm ³ 未満*
※寛解達成前の発現の場合は投与継続			
その他			

1クール期間 28日 総クール数 PDまで
(次のクールまでの標準期間)

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
ベネクラクス(ベネクレクスタ)	100mg/日	経口	分1(食後)	1クール目 day1
ベネクラクス(ベネクレクスタ)	200mg/日	経口	分1(食後)	1クール目 day2
ベネクラクス(ベネクレクスタ)	400mg/日	経口	分1(食後)	1クール目 day3
ベネクラクス(ベネクレクスタ)	600mg/日	経口	分1(食後)	1クール目 day4
ベネクラクス(ベネクレクスタ)	600mg/日	経口	分1(食後)	1クール目 day5以降(維持投与期)
CYP3A4阻害剤との併用時の用量調節基準 ・中等度のCYP3A4阻害剤: ベネクレクスタを半量以下に減量 ・強いCYP3A4阻害剤: (用量漸減期) ベネクレクスタを1日目は10mg、2日目は20mg、3日目以降は50mgに減量(維持投与期) ベネクレクスタを50mgに減量				
シタラビン(キロサイド)	20mg/m ² /回を1回/日	皮下注射		day1-10

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、溶解液まで含む)
day1-10 ①キロサイド20mg/m ² (皮下注射)
1クール目 day1 ・ベネクレクスタ100mg 分1(食後)
1クール目 day2 ・ベネクレクスタ200mg 分1(食後)
1クール目 day3 ・ベネクレクスタ400mg 分1(食後)
1クール目 day4 ・ベネクレクスタ600mg 分1(食後)
1クール目 day5以降(維持投与期) ・ベネクレクスタ600mg 分1(食後)